

# 全九州電気工事事業協会が発足

## 3団体一本化 副会長に本県の中島氏 業務範囲拡大へ第一歩



中島博夫副会長

承認すると共に、初代会長に岸田進喜氏(宮崎県電気工事組理事)、副会長に中島博夫氏(鹿児島県電気工事組理事)を選出した。

今回、一本化されたのは全九州電気工事事業協同組合連合会(全九連)、全九州電気協同組合連合会(電九協連)、全九州電気工事事業組合連合会(全九工連)の3団体の一本化は傘下の各県組合の長年の懸案事項であり、九州経済産業局等の指導のもと、ようやく結成にこぎつけた。

全九州電気工事事業協会(全九電協)の発起人の1人である中島副会長は「窓口が一本化されたことで、経済産業局や九州電力(株)との折衝も従来に比べスムーズにいくのでは。業務の面でも、電気工事一本やりから点検・保守、維持管理へと広がることを期待している」と語った。

九州の電気工事組合3団体が一本化し、新しく有限責任中間法人「全九州電気工事事業協会」を発足、その設立総会は1日、福岡市のホテル・シーホークで開催。定款や14年度事業計画・収支予算を



フィルターなどを点検・清掃する所員  
＝川内市の福和園で

### 九州電気保安協会川内事業所 福和園 照明など点検・清掃

九州電気保安協会川内事業所(園田博所長)は1日、川内市御陵下町の特別養護老人ホーム福和園で、照明器具・非常誘導灯やエアコンフィルターなどの点検・清掃・修理を実施した。

同日は、保安要員を残した11人が、脚立や手工具・清掃道具を持ち同園に集合。作業を前に園田所長が「電気需要が多い上、汗をかいた体は通電しやすいので、8月を『電気使用安全月間』と定め、PRの一環として電気設備の点検・清掃の奉仕作業を実施します。入園者に不安を与えたり迷惑の掛からぬよう、十分注意し、けがのないように作業して下さい」と挨拶。早速、手分けして作業に掛かり、玄関ポーチや廊下・階段などの誘導灯や照明器具、エアコン

県建設業協会加治木支部(木山裕継支部長)は1日、始良郡加治木町の保健センターで毎年恒例となった集団献血を実施し、来場者約80人のうち、基準を満たした約60人が採血を行った。

会場には、献血に備えて早めに現場を終了した

### 県建設業協会加治木支部 60人が血液不足に貢献



血液不足解消に一役買った集団献血  
＝加治木町の保健センターで

ンフィルターのカバーを外して点検・清掃し、切れた管球などは交換して約2時間ほどで手際よく作業し、明るくなった照明・誘導灯は職員や入園者に喜ばれた。

終了後は、同市のプラッセだいわに移動し、夕方方の買い物客たちに、電気器具使用時の注意事項がイラスト入りで印刷された、うちわやPR用品を配布し、『電気使用安全月間』であることのPR街頭キャンペーンを実施した。

### 火災類保安責任者試験 本番突破へ法令学ぶ

県火災保安協会

県火災保安協会(吉丸泰生会長)主催の14年度火災類取扱保安責任者試験受験準備講習会は1日から2日間の日程で、鹿児島市の県消防会館を会場に開催。25日の本番に向けて95人が関係法令等を学んだ。

講習初日は、県消防防災課の大淵協久治技術主幹兼保安部長が講師となり、火災類取扱保安責任者の



作業に先立ち、手順を確認する参加者  
＝東市来町の現地で

### 大庭土建奉仕作業

#### 内之田池周辺を清掃

大庭土建(大庭孝男社長)は7月27日、日置郡東市来町の内之田池公園周辺の除草清掃奉仕作業を社員や同町役場職員ら総勢約30人で行った。

午後から行われた作業には、社員が各々で草払い機やほうき、熊手などを持ち寄り集合。同町役場からも農林水産課の止宮田和己課長と上園博清司が参加した。池や遊歩道の

大庭社長は「地域に恩返しする思いで実施したが、社員には日頃の感謝の気持ちを込めて誠意を込めて作業するように促した。内之田池は春には桜が満開で人々もたくさん訪れる場所なので、今後も年間を通じて作業を実施するなど、地域に根ざした活動を行っていき

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。

## 南日本家具工芸株式会社

婚礼家具、造作家具、増改築、ジュータン  
カーテン、他、家具総合卸

TEL (099)269-7111  
FAX (099)268-0385

鹿児島市東開町13-30

日本の食文化にお応えする、バーナーの集大成です。  
すばやく調理ができる、熱効率の高い省エネバーナーです。  
ガラスストップは、お手入れがとっても簡単です。

### ビルトインコンロ

使いやすさと、やさしい安心感。

ひと・ゆめ・暮らし (インフォメーションセンター)

## 日本ガス

(099)206-6553